△＝委託、○＝工事

【シェッド年次計画】（R8.4.1時点）

1	2	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	21	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	105	106	107
番号	シェッド名	道路種別	路線名	所　在　地	完成年度（西暦）	完成後経過年数	延長（m）	構造形式	管理建設事務所	点検実施年度（西暦）（前回）	点検実施年度（西暦）（最新）	最新点検結果 健全性区分 新点検要領	点検計画（年度） 2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	2028（R10）	修繕計画（年度） 2019（R1）	2020（R2）	2021（R3）	2022（R4）	2023（R5）	2024（R6）	2025（R7）	2026（R8）	2027（R9）	2028（R10）	修繕内容	概算修繕全体事業費（百万円）	措置記録※1 再判定実施年月	措置記録※1 再判定区分	備　考
1	作之沢洞門	一般国道	473号	北設楽郡設楽町西薗目	1979	47	72.5	プレキャスト洞門	新城設楽	2017	2022	Ⅱ				○					○			○									ひび割れ補修	30	2021.8	Ⅱ	
2	作之沢2号洞門	一般国道	473号	北設楽郡設楽町西薗目	2017	9	204.0	プレキャスト洞門	新城設楽	2019	2022	Ⅱ	○			○					○		△	○									衝撃緩和剤補修	30	2021.8	Ⅱ	
3	大尾洞門	主要地方道	飯田富山佐久間線	北設楽郡豊根村富山大尾	1972	54	46.1	RC洞門	新城設楽	2017	2022	Ⅱ				○					○			○									ひび割れ補修	30	2021.8	Ⅱ	
4	滝原洞門	主要地方道	飯田富山佐久間線	北設楽豊根村古真立	1989	37	14.6	プレキャスト洞門	新城設楽	2017	2022	Ⅱ				○					○										△	ひび割れ補修	30			滝原TNと隣接

※1 修繕を実施したシェッドについては、その時点の点検要領にて再判定を行うものとし、その結果を「措置記録（再判定実施年月、再判定区分）」欄に示す。

点検の実施頻度は5年1回が基本であるが、2016に集中的に実施しているため、今後の予算平準化のため、2018以降で1～2年前倒し実施を計画している。

修繕計画の凡例：△設計、○工事